

強制送還は死を意味する！！

退去強制の2028人 強制送還332人

— 再度国会に提出されようとしている

「出入国管理法案」を許すな！

日本の平和と繁栄—それが朝鮮半島で流された夥しい血の上にあがなわれたという争奪は、私たちに歴史の重みを痛感させる。

ブルジョアジーだけでなしに自派前衛党によって我後生大争に守られている議院主義—労働者人民を欺瞞し、抑圧するものが、労働者を縛りつけるために使っている鎖、その歴史を思い起こさせる。

朝鮮で切り出された大理石で、祖国の路上である日、日本軍によって促えられた農民である父や母によって、十七年の月日を費し、65メートルのてっぺんの最後の石までもが横上げられた建物—多くの朝鮮人の血の労働の上にそびえ立つ建物—国会議事堂。60年安保斗争の戦場でもあり、「平和と民主主義を守れ！」というスローガンの象徴でもあるあの建物。そして、伊予羽田斗争によって打ち壊された幻想共同体の象徴—国会議事堂。この建物一つの長い歴史の道程をとっても、日本の平和と繁栄は闘う人民に次のマルクスの「他民族を抑圧する民族は、自分自身をいまいめる鎖をぎたえるのである」という有名な言葉を銘記させるのに充分であろう。

2028—332、この数字は、67年一年間の強制退去(2028人)強制送還(332人)の人数である。現行入管体制下で一年に332人の人間が、日本政府によって、日本国民の名の下に、朝鮮人であるが故に、中国人であるが故に死刑場に送りこまれている。そして、公神戸収容所には、韓国反戦兵士丁勳相が今日にでも、そして、中国人林景明が……。ベトナムの平和と統一のために闘っているベトナム青年ケエンアンキエン、ケエンホンクアン、トバンタムの三人が……。明日にでも—。というように、陳玉壘の兄弟たちの中国人が、朝鮮人が、ベトナム人が、幾度も多くの兄弟たちが圍から圍へほうむり去られたように、大きな危険に直面している。

私たちは、陳玉壘の教訓をしつかりと踏まえ、陳玉壘強制送還2周年の2月7日に、出入国管理法案

粉砕/ベトナム三青年弾圧粉砕/集会とデモを予定しています。そして現行入管体制下の弾圧に抗議して、より外国人の差別と抑圧を強化すべく、今春、国会へ再度「出入国管理法案」が提出されようとしている。私たちは、この法案を再び粉砕すべく闘いの準備をはじめなければなりません。本日神淵総闘争の革命的な闘いに呼応し、決起した、この集結に結集された全ての日本の労働者、学生、市民の皆さん/全軍労働者の闘いの中で、増々支配者階級の72年沖總「返還」の意図、そして日米共同声明の内容が明らかになり、現実化されつつあることがはっきりしてきました。日本帝国主義のアジア侵略に鉄槌を下さうではありませんか、そして、そのためにアジア人民と連帯して闘おうではありませんか。さうでなければ、日本の労働者人民は再び「自分自身をいまいめる鎖をぎたえてしまう」でしょうか。万国のプロレタリアと被抑圧民族は団結せよ！

出入管斗争を闘いぬく中から真のプロレタリア国際主義をかちとろう。

対あらゆる職場、学校、地域に入管法粉砕実行委員会を構築せよ。

対朝鮮人反戦兵士丁勳相、中国人林景明の強制送還を許すな！

対ベトナム三青年トバンタム、ケエンホンクアン、ケエンアンキエンを人民の大海の中で守りぬけ。

中国青年陳玉壘強制送還/ベトナム留学生への不当弾圧糾弾集会

東條会館(半蔵門) PM.1:00

連絡先:華僑青年斗争委員会

文京区後楽一の五三後楽寮気付

TEL 81-3-690